

姿、その人はそう遠くない階段に座っていた。

うすべにいろ ちどりこうし  
薄紅色のTシャツに千鳥格子のショートパン

ツ、手にはスターバックスのレモン柚子ティ

ー、そして手首のブレスレットにある青緑色

の翡翠が二つ、目に飛び込んできた。セレナ

は稲妻いなずまに打たれたかのように啞然あぜんとし、目を

逸そらすことができなかった。しかし、その人に

目を向けられると、恥はずかしくなって海へと

目を逸そらした。顔に当たった潮風しおかぜが海の苦み

に溢あふれた時代へ導き、忘れていた記憶きおくを蘇よみがえ

らせた。

